

# 事業評価シート

番号 2040100 - 001

## 【1.基本情報】

事業名	施設利用促進事業				
担当部署	市民参画部	担当課名	ぎふメディアコスモス事業課		
総合計画政策	まちをにぎやかにしよう		政策コード	3 - 1 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	27年度～	年度	根拠法令 関連計画※	中心市街地活性化基本計画	

## 【2.事業概要】

事業の目的	多様なイベントを定期的を開催することで、施設を中心としたにぎわいを創出し、施設利用の促進および中心市街地への求心力の向上を図って、中心市街地活性化に寄与し、真に市民に愛され活用される施設を目指す。	
事業の内容	夏季事業(開館記念事業) 冬季事業(イルミネーション事業) 春季・秋季事業(市民自主事業) 公共交通利用促進事業(バスdeメディアコス事業)	
事業の対象	何を	定期的な自主事業
	誰に (対象者・対象者数)	市民
	どのくらい (具体的 数値で)	各季節ごとに1回以上
平成29年度 (実施内容)	春季・秋季事業(市民自主事業)は市民活動団体を中心としたダンス・音楽ステージなど。 夏季事業(開館2周年)は著名人による講演会、子どもを対象としたワークショップなどの開催。 冬季事業はLED約14万球のイルミネーション装飾及び点灯式イベントの開催。 公共交通利用促進事業は公共交通による来館促進、中心市街地を回遊するイベントなど。	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成27年度決算額		平成28年度決算額		平成29年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	21,506	729	22,162	729	15,406	486
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
<b>計(A)</b>	<b>21,506</b>	<b>729</b>	<b>22,162</b>	<b>729</b>	<b>15,406</b>	<b>486</b>

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
項目	イベント広報等	30,316	36,215	19,625
減価償却費【施設管理】※(C)		平成27年度額(千円)	平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)
<b>計(D)=B+C</b>		<b>30,316</b>	<b>36,215</b>	<b>19,625</b>

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	51,822	58,377	35,031

## 【4.収入】

収入内訳	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
国庫支出金	27,424	35,890	6,200
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
<b>計(F)</b>	<b>27,424</b>	<b>35,890</b>	<b>6,200</b>

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	24,398	22,487	28,831

【6.コストバランス】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業受益者			
受益者数			
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	—	—	—

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	施設利用促進事業開催数	単位	回
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	3	4	4
実績値	3	4	4

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	来館者数	単位	人
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	1,000,000	1,200,000	1,300,000
実績値	865,395(※1,233,965)	1,263,982	1,300,918

※H27.7.18～H28.7.17来館者数

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	開館して3年目を迎えるが、年々来館者数は増加傾向(年々3%増)にあり、通常は開設後減少傾向となりやすい中、成果を示していると言える。  自主事業は市民活動団体の活用を積極的に図っており、市民と行政を結ぶ橋渡しの機会を提供する上で重要であり、知、絆、文化の拠点として市民への発信を行う上で効果的と考える。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	施設利用促進事業(年間事業費約20,000千円)については、H27開館以来継続しており、年3万人(2～3%)の来館者数増加からもイベントの継続開催による効果は認められる。  市民及び市民活動中心の事業へとさらにシフトしていくことで、より効率的・効果的に実施する。 なお、現状の事業実施期間等については、見直しの余地がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	来館者数は高いレベルで推移している。定期的な自主事業の開催がにぎわいの創出や活性化の面で寄与していると言える。 また、利用者アンケートの結果、3回以上の来館者7割と、確実にリピーターを獲得している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	自主事業は誰でも無料で参加・鑑賞できるようにし、施設の魅力を発信して利用促進につなげるものであり、受益者負担は公平かつ適正であると考えられる。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	改善	成果指標を上回る効果を示していることから、開館以来継続的に開催している自主事業が、中心市街地のにぎわいの創出や活性化に寄与しているため、継続して実施。 なお、冬季事業のイルミネーション点灯期間を見直し、短縮するとともに、1月のイベントを廃止する。また、事業開始から3年を経過し一定の効果が得られたことから、公共交通利用促進事業を廃止する。